

## 藤水地区ほか大規模雨水処理施設整備事業計画（津市）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>(藤水地区)</p> <p>地形が低平で、潮位より低い地域であることや既存排水施設の能力不足が生じており、浸水被害が頻発していることから、平成30年に津市雨水管理総合計画を策定し、経済的かつ迅速な浸水被害の最小化を目指すものとして重点対策地区に選定している。</p> <p>なお、降雨(50mm/h)での浸水被害は床上浸水(GL+0.60m以上)が0.1ha、床上浸水(GL+0.45m以上)が13.44ha、床下浸水(GL+0.20m以上から0.45未満)が37.60haである。</p> <p>(神戸・修成地区)</p> <p>上流部の宅地化が進み、雨水流出量が増加したことで既存の排水施設の能力不足や放流河川水位の影響により既存ポンプ設備等が機能せず窪地において浸水被害が発生していることから、平成30年に津市雨水管理総合計画を策定し、経済的かつ迅速な浸水被害の最小化を目指すものとして重点対策地区に選定している。</p> <p>なお、津市公共下水道全体計画の雨水排除計画に基づいた、概ね8年に1回程度起こりうる降雨(55mm/h)での浸水被害は床上浸水(GL+0.60m以上)が0.03ha、床上浸水(GL+0.45m以上)が2.65ha、床下浸水(GL+0.20m以上から0.45未満)が9.50haである。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <p>(藤水地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：50mm/h (※ポンプ場築造時には55mm/h(1/8確率降雨))</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標：50mm/h</li> </ul> <p>(神戸・修成地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：55mm/h</li> <li>・目標とする理由：津市公共下水道全体計画の雨水排除計画に基づいた降雨</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標：55mm/h (1/8確率降雨)</li> </ul> <p>② 目標設定</p> <p>(藤水地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i)生命の保護の観点：当該排水区に存在する障害者等要配慮者関連施設の床上浸水を防止する。</li> <li>ii)都市機能の確保の観点：一般国道23号及び市道塔世橋南郊線の浸水を防止し医療、商業、工業等の機能を確保する。</li> <li>iii)個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。</li> <li>iv)その他：特になし。</li> </ul> <p>(神戸・修成地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i)生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者等要配慮者関連施設の床上浸水を防止する。</li> <li>ii)都市機能の確保の観点：県道家所阿漕停車場線の浸水を防止し医療、商業、工業等の機能を確保する。</li> </ul>

(様式 1)

		<p>iii)個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。</p> <p>iv)その他：特になし</p> <p>③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について (藤水地区)</p> <p>i)ハード対策</p> <p>当該地区は低平で潮位より低い地域であるため、ポンプ場による河川への強制放流が必要となる。</p> <p>通常は、津市公共下水道全体計画の雨水排除計画に基づいた、概ね8年に1回程度起こりうる降雨(55mm/h)を対象に整備を実施する必要があり、ポンプ場建設、ポンプ場へ導くための雨水幹線の築造、幹線へ導くための面整備を進めていくが、運用開始までに数十年程度時間を要する。</p> <p>そこで、既存ストックを最大限に活用しながら、雨水幹線の築造から先行し、貯留管として暫定供用することで概ね6年程度で50mm/hの降雨に対する浸水被害を防止する。</p> <p>ii)ソフト対策及び自助</p> <p>雨水排除計画に基づいた、概ね8年に1回程度起こりうる降雨(55mm/h)において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、浄化槽の雨水貯留槽への転用を推奨し助成を行うことで被害をできるだけ小さくする。</p> <p>(神戸・修成地区)</p> <p>i)ハード対策</p> <p>施設整備により55mm/h(1/8確率降雨)において浸水被害を防止することを目的とする。</p> <p>ii)ソフト対策及び自助</p> <p>雨水排除計画に基づいた、概ね8年に1回程度起こりうる降雨(55mm/h)において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、浄化槽の雨水貯留槽への転用を推奨し助成を行うことで被害をできるだけ小さくする。</p>		
項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	・ <b>策定予定</b> (令和4年3月末策定予定)			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<p>(藤水地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水管渠の整備 排除面積 196.6ha</li> <li>雨水貯留施設の整備 貯留能力約 14,000m<sup>3</sup></li> </ul> <p>(神戸・修成地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水管渠の整備 排除面積 111.7ha</li> <li>雨水ポンプ場の整備 排水能力 13.32m<sup>3</sup>/s</li> </ul>
			下水道管理者以外	・特になし

(様式 1)

		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内水ハザードマップの作成・公表</li> <li>・水防体制、水防対応</li> <li>・浄化槽の雨水貯留槽への転用補助制度</li> </ul>
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津市地域防災計画公表(危機管理部)</li> <li>・防災訓点(職員派遣・備品提供)(危機管理部)</li> <li>・土のう袋配布・設置(建設部)</li> </ul>
	自助	ハード対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽の雨水貯留槽への転用</li> </ul>
		ソフト対策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主避難訓練</li> <li>・排水構造物清掃</li> </ul>

年度計画（百万円）

名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
雨水管渠	333.4	1328	1050	1300	1500	1941	7452.4
移転補償費	62.7	0	0	0	0	0	62.7
半田川田ポンプ場	122	776	50	0	0	0	948
計	518.1	2104	1100	1300	1500	1941	8463.1

項目	内容・施策等
整備効果	<p>&lt;事業評価の内容&gt;</p> <p>浸水被害の軽減便益：22,383百万円が削減される。</p> <p>B/C：2.94</p> <p>経済的内部収益率：12.54%</p>
放流先河川との調整状況	<p>(藤水地区)</p> <p>今回の整備では、既存ポンプ場を利用するため、放流先河川と調整は必要ないが、新規ポンプ場整備計画時においては、河川管理者と協議を実施する。</p> <p>(神戸・修成地区)</p> <p>放流河川(二級河川岩田川)との協議については完了済み</p>